

Ⅲ－軍事と医療：緊急時対応に関して若干の雑感：突っ込んだ議論には時間不足

1, 軍事と医療

- ① 医療は戦前軍事と深く結びついていた
 - ・理由は簡単：軍事力の維持には医療が欠かせないから
 - －赤十字も済生会もトップは皇族
 - －DPC 展開時の熊本大学と長崎大学の治療法の差
 - ・世界でも赤十字社と赤新月社は攻撃の対象外
 - ・農薬も軍事：飛びバッタの襲来は国を亡ぼす：仏では原発も鉄道も軍事
- ② 生物兵器：今回の中国の対応を見ると
 - ・準備が相当に進んでいたことを思わせる：ゼロコロナの前半戦は一人勝ち
 - －それでもウィルスの変異には追い付かない
 - ・ウィルスを用いた生物兵器はコントロール不能となることが明確になった
- ③ 緊急時対応
 - ・一般的には大災害のある地域の民族は新陳代謝が行われ活力がある
 - ・緊急時には指揮命令権の一本化と戒厳令の実施ができなければならない
 - ・科学的判断に基づく意志の統一が必須：強制権も
- ④ 日本で有効な病院船
 - ・日本は大災害が必ず起きる国：起こる場所も一定ではない：周囲は海
 - ・災害時にどこにでも行ける病院船は有効な手段：海外派遣の際も軍艦より歓迎
 - ・一昨年、予算が通らなかった病院船：理由がお粗末すぎる
 - －必要な医師と看護師を動かさないという：後期研修医の派遣義務で解決する？
- ⑤ 米国の R&D は国防総省と連邦政府の予算に支えられている：当然入札制限付き
 - ・インターネットもロボット掃除機も米国の軍事から生まれた
 - ・ボーイング 747 は米軍発注の輸送機入札で R ガラクシーに負けたためできた
- ⑥ 日本の R&D は？
 - ・かつて電電公社、国鉄、電力が支えた日本の電機産業の R&D
 - ・航空機と一緒に一挙に葬った時期がある
- ⑦ 米国の医療保障：高齢者向けのメディケアと弱者のためのメディケイド
 - ・メディケアとメディケイド：できたのはベトナム戦争の時
 - ・高齢者向けメディケアは急性期までしか担保しない：慢性期からは自助努力
 - ・弱者の定義は 3 人だけ：乳幼児、乳幼児を抱えた職の無い母親、戦争の怪我人
 - －南北戦争で 80 万人の戦死、戦病死：大量の乳幼児を抱えた未亡人の記憶とも
- ⑧ 脱線してローコストな防衛策を少し：日本は島国：上陸を防ぐのがポイント
 - ・核保有：やられたらやり返す：英独仏は「使わない核武装」を選択
 - ・AI 機雷：味方の船舶は見逃すが他は攻撃する：上陸作戦が極めて困難となる
 - ・人工津波：複数の海中爆発により狙った地点に津波を集中させる